

立田地区の 入浴施設の修繕は

真野 和久議員



南部地区は修繕し再開に向け進めている
市民協働部長



▲入浴施設の再開の目処が立たない
立田北部地区コミュニティセンター

問 立田北部・南部地区のコミュニティセンターの入浴施設は、このところ毎年のように故障で使用停止になっている。最近の故障や修繕の状況は。また、大規模修繕の考えは。

答 北部・南部とも建設から20年以上が経過しており、入浴施設の基幹機器である給湯設備等の経年劣化による故障が発生している。北部は、令和6年3月に発生したポイ

ラーの故障により、入浴施設の利用を停止している。南部は、5月に熱交換器等が故障したため利用を停止している。熱交換器等の修繕については再開に向け進めている。現時点では大規模修繕は考えていない。

問 北部は、機器の更新が必要で再開の目処は立っていないということだが、再開する方向であるのか。入浴施設は、市

民の健康維持や増進に役立つ施設だ。八開総合福祉センターの入浴施設が廃止となったが、その再開も含め、活用すべきでは。

答 施設ごとの設置目的を踏まえた上で、公共施設全体の入浴施設の在り方について、他自治体の状況なども確認しながら考えていくことが必要だ。

反対多いのに 基本計画を 決めたのは

問 第1期愛西市小中学校適正規模等並びに老朽化対策基本計画が決定された。パブリックコメントでは82人136件の意見があり、その多くが見直しを求める意見だった。反対意見を考慮せず、なぜ強引に進めたのか。

答 パブリックコメントでは、肯定的な意見もあった。3月26日、臨時教育委員会を開催し、これ

まで協議を重ねてきた結果として、基本計画を策定した。

問 統合の協議に入る際や統合を決定する前に生徒・児童の意見を聞かなかったのはなぜか。

答 学校規模適正化により直接影響を受ける児童・生徒の考え、意見をアンケート等によって意見が可視化されることは有意義だと考える。一方で、児童・生徒に対する直接的な意見等の聞き取りは、聞く側の意思によって回答が左右される可能性がある。

その他の質問

●高齢者の補聴器購入に支援を